



平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システムインテグレータ
コード番号 3826 URL <http://www.sint.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日

(氏名) 梅田 弘之
(氏名) 山田 ひろみ

TEL 048-707-7061

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	722	60.8	78	57.6	78	55.4	49	42.4
25年2月期第1四半期	449	△7.2	49	1.8	50	30.1	34	77.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	18.19	17.83
25年2月期第1四半期	13.16	12.65

当社は、平成24年9月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第1四半期	2,150	1,606	74.7
25年2月期	2,096	1,597	76.2

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 1,606百万円 25年2月期 1,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	11.00	11.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成25年7月9日開催の取締役会において、平成25年8月1日付で普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行う旨の決議をしておりますが、平成26年2月期(予想)の期末1株当たり配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	22.8	220	4.2	220	3.7	137	2.2	25.06
通期	2,920	9.9	420	3.4	421	3.3	262	5.5	47.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年7月9日開催の取締役会において、平成25年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う旨の決議をしておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期1Q	2,709,600 株	25年2月期	2,709,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年2月期1Q	— 株	25年2月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期1Q	2,709,600 株	25年2月期1Q	2,629,600 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成24年9月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

当社は、平成25年7月9日開催の取締役会において、平成25年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う旨の決議をしております。これに伴い、業績予想の1株当たり当期(四半期)純利益金額については、当該株式分割の影響を考慮しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	5
(3) 業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

① 全般

当第1四半期累計期間の業績は、売上高722,687千円(前年同四半期比60.8%増)、売上総利益222,096千円(前年同四半期比16.1%増)、営業利益78,311千円(前年同四半期比57.6%増)、経常利益78,713千円(前年同四半期比55.4%増)、四半期純利益49,285千円(前年同四半期比42.4%増)となりました。

前事業年度から引き続き「SI Web Shopping」及び「GRANDIT」関連の大規模開発案件が順調に推移し、プロジェクト管理システム「SI Object Browser PM」も本事業年度は好調に推移しています。この「SI Object Browser PM」の自社利用によりプロジェクト管理が強化されたため、引き続き高水準の利益率を確保しています。その結果、売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益は前年同四半期を大きく上回り、業績は好調に推移しています。

② 製品区分別の概況

当社は、パッケージソフトウェア関連事業の単一セグメントであります。製品区分別に分類して業績の概況を説明いたします。

当社の製品は、ソフトウェア開発支援ツール「SI Object Browser」シリーズ、ECサイト構築パッケージ「SI Web Shopping」、Web-ERPパッケージ「GRANDIT」、そしてプロジェクト管理システム「SI Object Browser PM」という4つの市場・製品群から構成されています。

当社では、パッケージソフトウェアの企画・開発から販売・保守までを自社にて一貫して行っています。長年にわたって培った「パッケージソフトウェア業務のノウハウ」を当社の強みとしています。さらに、その関連ビジネスとして、パッケージカスタマイズとコンサルティングも手掛けており、パッケージソフトウェアを中心に強みを活かした効率的なビジネス拡大を図っています。

(製品別業務対応表)

製品	発売時期	パッケージ 企画・開発	パッケージ 販売・保守	カスタ マイズ	コンサルティ ング
SI Object Browser	平成9年8月	○	○	—	—
SI Web Shopping	平成8年3月	○	○	○	○
GRANDIT	平成16年5月	※	○	○	○
SI Object Browser PM	平成20年11月	○	○	○	○

※GRANDITは、コンソーシアム形式で開発され、当社は企画段階から参画しています。

<ソフトウェア開発支援ツール「SI Object Browser」関連>

「SI Object Browser」は、データベース開発支援ツール「SI Object Browser」、データベース設計支援ツール「SI Object Browser ER」の2製品から構成されます。いずれもソフトウェア開発の生産性を向上させるツールとして業界で多く利用されており、安定した収入源となっています。

また、保守の有料化サポートは、ストック型ビジネスとして継続的な市場浸透と安定した事業収益をあげています。

「SI Object Browser」関連の当第1四半期累計期間の売上高は77,409千円(前年同四半期比9.2%減)、売上総利益71,915千円(前年同四半期比13.6%減)と前年同四半期を下回っていますが、前第1四半期は、新製品の効果により特に好調であったための反動によるものであり、当初の計画通りに推移しています。

<ECサイト構築パッケージ「SI Web Shopping」関連>

「SI Web Shopping」は、日本初のECサイト構築パッケージとしてネット通販市場の拡大とともに事業規模も順調に拡大してきました。当第1四半期累計期間は前事業年度に引き続き大規模開発案件、特にネットスーパー関連が好調に推移し、売上高は248,357千円(前年同四半期比23.0%増)、売上総利益45,266千円(前年同四半期比18.0%減)となりました。売上高の伸びに対し、売上総利益は前年同四半期比減少していますが、カスタマイズ案件の大規模化が進み利益率が前年同四半期に比べ低下したことなどが主な要因です。

日本のEC市場は順調に伸びております。これまで手作り(カスタムメイド)で構築してきたECサイトの多くが仕組みの陳腐化、パフォーマンスの限界、セキュリティ対策の遅れ等の問題を解消するために、長年ECサイト構築を行ってきたノウハウと数多くの実績を持つ「SI Web Shopping」へのリプレースが増えています。この潮流はしばらく継続しそうな勢いがあり、引き続き積極投資を行うことで「SI Web Shopping」の強みである大規模ECサイト中心の拡販戦略により、ECサイト構築のデファクト・スタンダードを目指してまいります。

<Web-ERPパッケージ「GRANDIT」関連>

「GRANDIT」関連ビジネスにおいては、取締役をはじめ従業員の多くが長年ERP事業に携わっており、その豊富な業務ノウハウが評価され、事業規模は順調に拡大してきました。市場・製品特性上業績は景気動向の影響を受けやすく好・不調の変動がありますが、当第1四半期は前事業年度に引き続いてERPの市場環境は好調に推移しています。当第1四半期累計期間の売上高は326,417千円(前年同四半期比184.5%増)、売上総利益72,460千円(前年同四半期比105.7%増)と大幅な増収増益となりました。

GRANDIT事業はコンソーシアム方式なので、同一製品を複数のコンソーシアム企業が販売するため、差別化要因として当社独自のアドオンモジュールを用意し、他のコンソーシアム企業にない展開を図っています。「個別生産管理アドオンモジュール」、「繰返生産管理アドオンモジュール」、さらには「継続取引管理アドオンモジュール」をリリースし、これらの当社独自製品を活かして、製造業向けの販売・受注が拡大しています。さらに、当社の自社開発パッケージ「SI Object Browser PM」との組合せにより、IT関連企業への導入事例も増えています。

<プロジェクト管理システム「SI Object Browser PM」関連>

「SI Object Browser PM」は、上述のソフトウェア開発支援ツール「SI Object Browser」シリーズのひとつとして、平成20年11月にリリースされました。その後、確実に市場浸透が進み、現在では上記3製品につづく第4の柱へと成長し、市場からも高い評価を得ています。業績は発売開始から拡大を続け、導入企業も着実に増え続け70社を超えました。当第1四半期累計期間の売上高は42,996千円(前年同四半期比11.8%増)、売上総利益25,897千円(前年同四半期比113.5%増)となりました。

プロジェクト管理を総合的にカバーするという発想は他に例がなく、現時点では競合する製品がほとんどない状態なので、その優位性を活かし販売拡大を図り、プロジェクト管理システムのデファクト・スタンダードを目指しています。

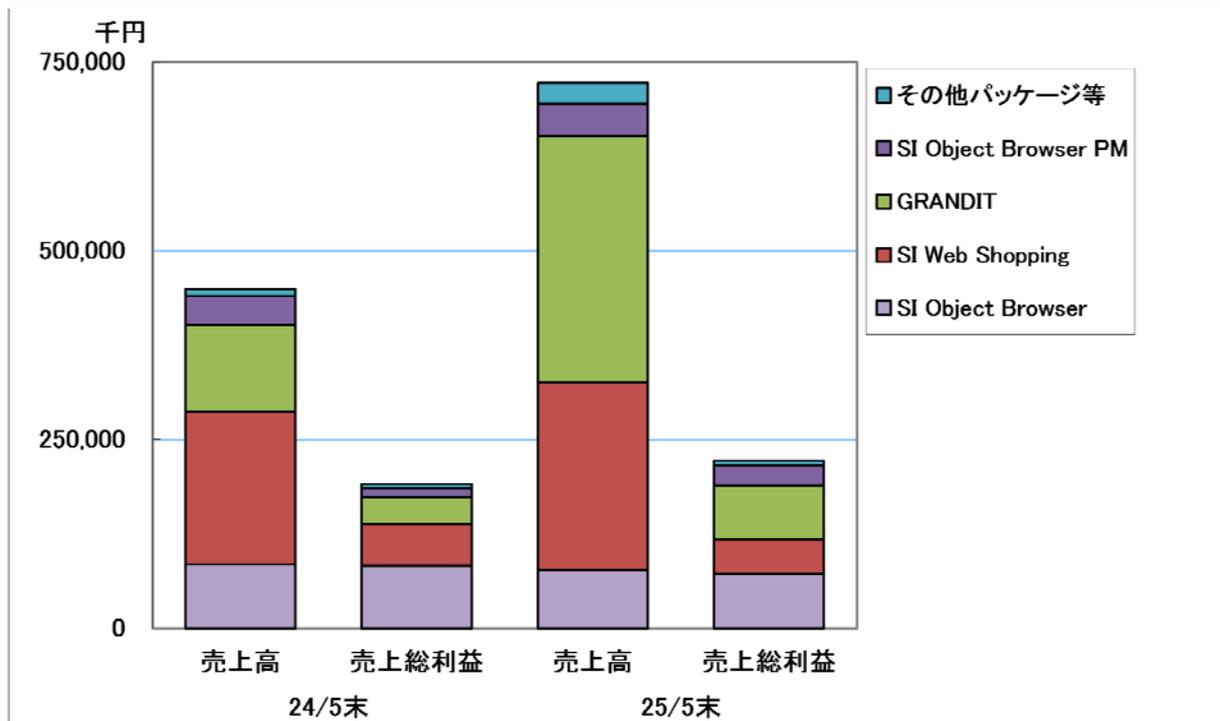
なお、ご参考として、製品区分別の売上高及び売上総利益に関する前年同四半期比較表及びその推移グラフを以下に示します。GRANDIT関連が特に売上、利益ともに前年同四半期を大きく上回り、好調に推移しています。

製品区分別の売上高

a. 前年同四半期比較表

製品区分	前第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)		当第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)		前年同四半期比 (%)	
	売上高 (千円)	売上総利益 (千円)	売上高 (千円)	売上総利益 (千円)	売上高	売上総利益
「SI Object Browser」関連	85,243	83,267	77,409	71,915	90.8	86.4
「SI Web Shopping」関連	201,865	55,172	248,357	45,266	123.0	82.0
「GRANDIT」関連	114,737	35,233	326,417	72,460	284.5	205.7
「SI Object Browser PM」関連	38,470	12,129	42,996	25,897	111.8	213.5
その他パッケージ等	9,248	5,455	27,506	6,556	297.4	120.2
合計	449,565	191,258	722,687	222,096	160.8	116.1

b. 前年同四半期、当第1四半期の推移グラフ



(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前事業年度末に比べ26,723千円増加し1,917,795千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加25,272千円などによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ27,761千円増加し233,137千円となりました。これは主として、投資有価証券の増加21,534千円、敷金保証金の増加8,826千円などによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ54,484千円増加し2,150,933千円となりました。

負債は、前事業年度末に比べ45,475千円増加し544,797千円となりました。これは主として、前受金の増加68,608千円、未払法人税等の減少54,405千円、預り金の増加7,338千円などによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ9,009千円増加し1,606,136千円となりました。これは、四半期純利益の計上49,285千円、配当金の支払い54,192千円、その他有価証券評価差額金の増加13,915千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当期は、2013年3月19日に公表した新中期経営計画「Progress2013」において、『「筋肉質な会社」を維持しつつも、「成長＝売上の拡大」路線に舵を切り、売上拡大を実現する』を基本方針に掲げており、更なる売上高の拡大と利益の確保を目指し事業活動を行っています。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高で前年同四半期比60.8%増、経常利益で前年同四半期比55.4%増と好調に推移しています。この結果を踏まえ業績予想の見直しを行った結果、平成25年4月12日発表の「平成25年2月期決算短信[日本基準](非連結)」において公表した、平成26年2月期第2四半期累計期間の業績予想を修正し、売上高1,500,000千円(前年同四半期比122.8%)、営業利益220,000千円(前年同四半期比104.2%)、経常利益220,000千円(前年同四半期比103.7%)、四半期純利益137,000千円(前年同四半期比102.2%)にそれぞれ上方修正いたしました。当該予想に関する詳細は、平成25年7月9日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当期は、既存4本柱の製品に加えて、中国での市場拡大をターゲットとした最新バージョンの「SI Object Browser」シリーズの中国での販売開始、モバイルファースト時代を先取りしたO2Oマーケティングサービス「SI Mobile Portal for Shop」(略称モバポタ)の販売拡大、全く新しい発想のアプリケーション設計支援ツール「SI Object Browser Designer」(略称OBDZ)の販売開始などにより、更なる成長を目指していますが、これらについては不透明な要因もあり、通期の業績予想は平成25年4月12日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,047,172	1,072,445
受取手形及び売掛金	639,789	639,951
仕掛品	130,839	104,157
貯蔵品	127	136
その他	73,979	101,938
貸倒引当金	△835	△833
流動資産合計	1,891,072	1,917,795
固定資産		
有形固定資産	10,514	9,617
無形固定資産		
ソフトウェア	123,799	123,152
その他	10,670	9,614
無形固定資産合計	134,469	132,767
投資その他の資産	60,391	90,752
固定資産合計	205,376	233,137
資産合計	2,096,448	2,150,933
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,890	106,174
未払法人税等	95,066	40,661
賞与引当金	65,097	32,994
受注損失引当金	1,798	930
その他	187,226	352,271
流動負債合計	495,078	533,031
固定負債	4,243	11,765
負債合計	499,322	544,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,722	363,722
資本剰余金	353,722	353,722
利益剰余金	870,933	866,027
株主資本合計	1,588,377	1,583,471
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,749	22,665
評価・換算差額等合計	8,749	22,665
純資産合計	1,597,126	1,606,136
負債純資産合計	2,096,448	2,150,933

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	449,565	722,687
売上原価	258,306	500,590
売上総利益	191,258	222,096
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	42,857	46,692
賞与引当金繰入額	5,839	7,092
その他	92,860	90,000
販売費及び一般管理費合計	141,557	143,785
営業利益	49,701	78,311
営業外収益		
有価証券利息	82	28
受取手数料	—	322
為替差益	532	—
その他	322	51
営業外収益合計	937	402
経常利益	50,638	78,713
税引前四半期純利益	50,638	78,713
法人税、住民税及び事業税	19,255	38,875
法人税等調整額	△3,222	△9,447
法人税等合計	16,032	29,427
四半期純利益	34,606	49,285

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社はパッケージソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

(株式分割及び定款の一部変更)

当社は、平成25年7月9日開催の取締役会決議において、株式分割及び定款の一部変更の実施を決議いたしました。

1. 株式分割及び定款の一部変更の目的

株式分割により当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めることで、投資家の皆様により投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成25年7月31日(水曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式総数	2,769,600株
②今回の分割により増加する株式数	2,769,600株
③株式分割後の発行済株式総数	5,539,200株
④株式分割後の発行可能株式総数	15,616,000株

3. 分割の日程

基準日公告日	平成25年7月10日(水曜日)
分割基準日	平成25年7月31日(水曜日)
効力発生日	平成25年8月1日(木曜日)

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	6円58銭	9円09銭
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額	6円32銭	8円92銭